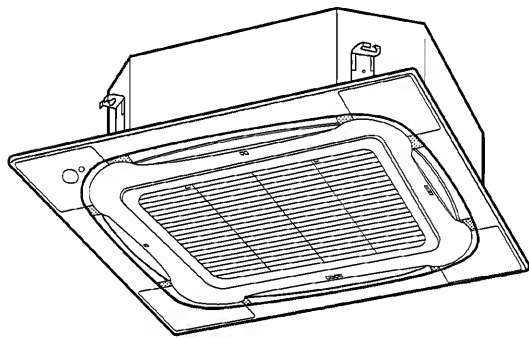
DAIKIN

取扱説明書

ダイキンエアコン

スカイエア

《セパレート形》

天井埋込カセット形
センシングフローータイプ

室内ユニット

新冷媒シリーズ(R410A)

FHCP40BA	FHCP40BB
FHCP45BA	FHCP45BB
FHCP50BA	FHCP50BB
FHCP56BA	FHCP56BB
FHCP63BA	FHCP63BB
FHCP71BA	FHCP71BB
FHCP80BA	FHCP80BB
FHCP112BA	FHCP112BB
FHCP140BA	FHCP140BB
FHCP160BA	FHCP160BB

●このたびはダイキンエアコンをお買上げいただき、まことにありがとうございます。

●この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。
正しくお使いいただくために、ご使用前に、必ずお読みください。
お読みになった後、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、必ずこの取扱説明書をお渡しください。

●この取扱説明書は室内ユニット専用ですので、室外ユニットおよびリモコン付属の取扱説明書とあわせてご覧ください。
保証書はお買上げの販売店からお受取りのうえ、大切に保管してください。

上手に使って上手に節電

安全について　必ず守ってください

ご使用の前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください

●ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。	⚠注意	誤った取扱いにより、傷害を負う可能性または物的損害の可能性があるもの。状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。

●本文中に使われる「絵表示」の意味は次のとおりです。

	絶対にしないでください。		絶対にぬれた手で触れないでください。		絶対に水にぬらさないでください。		必ず指示どおりに行ってください。

■使用上の注意事項

⚠警告

●冷媒がもれたら火気厳禁
エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常もれることはありませんが、万一、冷媒が室内にもれ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買上げの販売店にご連絡ください。
冷媒もれの修理の場合は、もれ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。

禁止

●分解や改造・修理をしない
水もれや感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。

禁止

●可燃性のガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。

禁止

●異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止して電源ブレーカーをしゃ断する
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。
お買上げの販売店にご連絡ください。

⚠注意

●ぬれた手で操作しない
感電の原因になることがあります。

ぬれ手禁止

●エアコンを水洗いしない
漏電によって感電や火災の原因になることがあります。

水ぬれ禁止

●お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーをしゃ断する
電源をしゃ断しないと、感電やけがの原因になることがあります。

●高所作業をするときは足場に気をつける
足場が不安定な場合、落下・転倒によりけがの原因になることがあります。

■据付上の注意事項

⚠警告

●据付工事は、自分でしない
据付けに不備があると、水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。

禁止

●別売品の取付けは、自分でしない
(交換用別売品は除きます)
別売品は、当社指定以外のものは使用しない
取付けに不備があると、水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにご依頼ください。
(裏表紙参照)

禁止

●移動・再設置は、自分でしない
据付けに不備があると、水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。

禁止

据付場所について

●室外ユニットはまわりに障害物のない風通しの良いところに設置されていますか?

●次のような場所では使用しないでください。
- 切削油など鉱物油の立ち込めるところ
- 調理場など油の飛沫や蒸気の多いところ
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 温泉地帯など硫化ガスのあるところ
- 酸・アルカリ性蒸気の立ち込めるところ
- 工場など電圧変動の多いところ
- 車両・船舶への搭載など
- 電磁波を発生する機械のあるところ

●室外ユニットは防雪対策されていますか?
防雪フードなど、詳細はお買上げの販売店へご相談ください。

電気工事について

●電気工事・D種接地工事の施工には資格が必要です。
お買上げの販売店に依頼し、ご自分ではなさらないでください。

●室外ユニットはエアコン専用の回路をご使用ですか?

運転音にもご配慮を

●次のような場所を選んでいますか?
- エアコンの重量に十分耐え、運転音や振動が増大しないようなところ
- 室外ユニットの吹出口からの風や運転音が近隣の迷惑にならないようなところ

●室外ユニットの吹出口近くに障害物がありませんか?
機能低下や運転音増大の原因になります。

●使用中に異常音がする場合はお買上げの販売店にご相談ください。

ドレン配管の排水について

●ドレン配管は確実に排水するよう施工されていますか?
冷房運転時、ドレン配管から排水されていない場合は、ドレン配管内でゴミ・ホコリなどがつまり、室内ユニットから水がもれる原因になることがあります。
運転を停止して、お買上げの販売店にご相談ください。

同時運転マルチシステムの説明

本室内ユニットは、次のいずれかのシステムでご使用ください。詳細はお買上げの販売店に確認してから操作してください。

ペアシステムの場合	同時運転マルチシステムの場合
●冷房・暖房・自動・マイコンドライ・送風運転ができます。	●冷房・暖房・自動・マイコンドライ・送風運転ができます。

お願い

- **運転操作についてはリモコン付室内ユニットに付属の取扱説明書にしたがって操作してください。**
  また、ワイヤレスリモコンをご使用の場合は、ワイヤレスリモコンキットに付属の取扱説明書をあわせてご覧ください。

各部の名前と働き

ドレン配管

ドレン排出装置（内蔵）
冷房運転中に取り除かれた水分を排出します。
※自然蒸発式加湿器（別売品）組込みの場合、暖房運転時も作動します。

床温度センサー
床面の平均温度を検知します。

人検知センサー
各吹出口に対応した4個のセンサーで人の有無を検知します。

エアフィルター（吸込グリル内）
お手入れのしかたは 6,7 ページをご覧ください。

吸込グリル
お手入れのしかたは 7 ページをご覧ください。

リモコン
リモコンの取扱いについては、リモコン付属の取扱説明書をご覧ください。
システムの構成によってはリモコンが不要な場合があります。
（本ページ上を参照）

長期使用製品安全表示銘板（吸込グリル内）
設計上の標準使用期間などを表示しています。

機種名銘板（吸込グリル内）
機種名などを表示しています。

吹出口識別マーク（4ヵ所）
風向調節はこのマークを目印にしてリモコンで設定します。

風向羽根（吹出口内）

吹出口

冷媒配管
連絡配線
アース線（注）
（注）万一の感電・火災防止のため室内ユニットから大地へ電気を逃がす線です。

運転の特性

冷房運転の特性（冷房・自動冷房運転）

- 室内温度が低い状態で冷房運転をした場合、室内ユニット熱交換器に霜が着き冷房能力が下がる場合があります。
  その場合、自動でしばらくの間、除霜運転を行います。
  除霜運転中に溶けた水が飛ぶのを防ぐため、風量「弱」運転になります。
  （リモコンには設定した風量が表示されます。）
- 外気温度が高い場合、設定温度になるまで時間がかかります。

暖房運転の特性（暖房・自動暖房運転）

運転開始について

- 一般的に暖房運転の場合、冷房運転と比べ設定温度になるまで時間がかかります。
  タイマー運転を活用した事前の運転開始をおすすめします。

暖房能力の低下や冷風が吹き出すのを防ぐために次の運転をします。

運転開始時および除霜運転終了後

- お部屋全体を暖める温風循環方式なので、運転を開始してから温まるまで、しばらく時間がかかります。
  エアコン内部の温度がある程度高くなるまでは、室内ファンは自動で微風運転をします。
  そのときリモコンには「除霜／ホットスタート」が表示されます。
  （リモコンには設定した風量が表示されます。）
- 冷風が吹き出すのを防ぐために、風向は水平になります。
  （リモコンには設定した風向が表示されます。）

除霜運転（室外ユニットの霜取り運転）

- 室外ユニットに霜が着くと暖房能力が下がるため自動で除霜運転に切り換わります。
- 温風が止まり、リモコンに「除霜／ホットスタート」が表示されます。
  （リモコンには設定した風量が表示されます。）
- 約6～8分（最長10分）で、元の運転に戻ります。
- 風向は水平になります。（リモコンには設定した風向が表示されます。）
- 除霜運転中や除霜運転終了後、暖房運転に切り換わったとき、室外ユニットの吹出口から白い煙が出ます。
  （9 ページ参照）
- 特殊な運転のため、「チュルチュル」・「シュー」音などがするときがあります。

外気温度と暖房能力について

- 外気温度が下がるにつれて暖房能力は低下します。
  このような場合はほかの暖房器具と併用してお使いください。
  （燃焼器具と併用の場合は、こまめな換気が必要です。）
  エアコンの風が直接当たるところで燃焼器具を使わないでください。
- 温風が天井にこもり、足下が寒いときは、サーキュレータ（室内循環ファン）のご使用をおすすめします。
  詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。
- 室内温度が設定温度以上になった場合、エアコンの風は微風運転になります。
  風向は水平になります。（リモコンには設定した風量・風向が表示されます。）

マイコンドライ運転の特性

- 室内温度を下げずに湿度を下げる運転を行うため、運転ボタンを押したときの室内温度が設定温度になります。
  そのとき自動で風量・温度を設定するため、リモコンには風量・設定温度の表示はされません。
  室内温度と湿度を下げたいときは、冷房運転で室内温度を下げてからマイコンドライ運転をしてください。
  室内温度が下がった場合、エアコンの風が止まる場合があります。
- 室内温度が低い状態でマイコンドライ運転をした場合、室内ユニット熱交換器に霜が着く場合があります。
  その場合、自動でしばらくの間、除霜運転を行います。

エコ全自動運転の特性

人検知センサーと床温度センサーにより人の有無と床温度を検知し、風量、風向を自動でコントロールすることで快適性と省エネ性を両立した運転を行います。
（風量自動、風向自動はそれぞれ個別に設定が可能です。）

- リモコンにはエコ全自動運転の表示がされます。（風量、風向は表示されません。）
- 風量はリモコンの設定温度と室内温度の差に応じて自動で5段階にきめ細かくコントロールします。
- 風向は人検知センサーにより人に直接風をあてないようにコントロールします。
- 床温度センサーにより人付近温度を精度よく検知し、ムダな運転を防止し快適な運転を行います。
（冷房時の足元の冷やしすぎの防止、暖房時の快適な足元暖房を行います。）

センサー部について

- 人検知センサー：各吹出口に対応した4個のセンサーで人の有無を検知します。

ご注意

- **人検知センサーは熱の移動を検知しているため、連続的に高温の物体が移動する場合、「人が在室」と検知する場合があります。**
また、背を向けていたり、肌の露出が少ない場合、「人がいない」と検知する場合があります。
（例：動物の移動、赤外線ヒータの首振り運転など）

- 床温度センサー：床面の平均温度を検知します。

ご注意

- **局所的な温度が室内温度と極端に異なる場合、室内温度の判定に影響が出る場合があります。**
（例：床暖房設置箇所、高温発熱機器設置箇所など）

風向調節の内容と働き

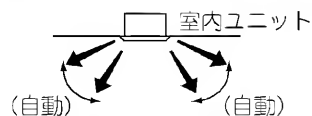
- 風向調節は各吹出口ごとに個別に設定ができます。
設定したい吹出口の識別マーク（2 ページ参照）を確認してリモコンから設定を行ってください。
（設定方法はリモコンの取扱説明書をご覧ください。）
- 停止中は吹出口の上下風向羽根を閉じます。
- 風ブロック機能について
上下風向羽根を風量をしぼる位置に設定することで体にあたる風をやわらげます。
（風ブロック機能はリモコンから設定できます。）

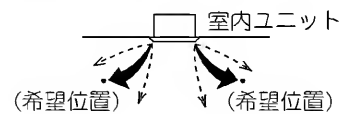
ご注意

- **「風ブロック」は1方向のみ設定可能です。**
- **「風ブロック」はオプションによって併用できないものがあります。**
- **「風ブロック」の設定または設定変更についてはお買い上げの販売店にご相談ください。**

風向調節には次の3とおりがあります。

上下風向スイング

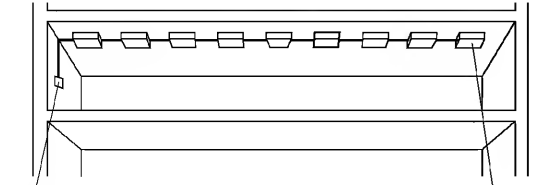
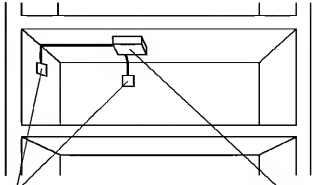
自動で風向を
上下させます。

上下風向固定

5段階に風向を固定
することができます。

風向自動

人検知センサーと床温度センサーにより
風向を自動でコントロールします。

- 人に直接風を当てないように
コントロールします。
- 暖房時、床面温度が低いと自動で下吹きに
コントロールします。

上下風向羽根の動きについて

- エコ全自動運転、風向自動運転の場合は風向は表示されません。
- 下記運転状態のときは自動で風向をコントロールしますので、リモコンの表示とは異なる場合があります。

運転状態	上下風向
暖房 自動暖房	●設定温度より室内温度が高いとき （直接風が体に当たらないように、水平吹出しとなります。） ●暖房運転開始時、除霜運転時（室外ユニットに霜が着いたとき） （直接風が体に当たらないように、水平吹出しとなります。）

- **風向の個別設定はツインマルチ、トリプルマルチ、Wツインマルチをグループ制御する場合は子機は設定できません。**

複数台同時運転の場合

複数台の室内ユニットを同時に運転できるシステムになっている場合

1つのリモコンでグループ制御	2リモコン制御
● 1つのリモコンで最大16台まで運転操作できます。 ● すべての室内ユニットは同じ設定となります。 リモコン　室内ユニット	2つのリモコンから1台（グループ制御の場合は1グループ）の室内ユニットを運転操作できます。 リモコン　室内ユニット

- **グループ制御・2リモコン制御の組合わせや設定については、必ずお買上げの販売店に確認してください。**
- **グループ制御・2リモコン制御の組合わせや設定を変更される場合はご自分でなさらずに、必ずお買上げの販売店にご依頼ください。**

上手な使いかた

●冷房中は直射日光を入れるのはやめましょう

窓にはカーテンかブラインドをつけてください。

禁止

●ドアや窓を開けたままにするのはやめましょう

運転効率が悪くなります。

禁止

●吹出口・吸込口の近くにものを置くのはやめましょう

能力が低下、または運転が停止することがあります。

禁止

●冷やし過ぎ・暖め過ぎに注意しましょう

電気のムダ使いになります。

●エアフィルターはこまめに清掃しましょう

汚れたまま運転すると能力の低下、または故障の原因になることがあります。

ページ参照

●テレビ・ラジオ・ステレオなどは室内ユニットやリモコンから1m以上離しましょう

映像が乱れたり、雑音が入ることがあります。

●長時間使用しないときは電源ブレーカーをしゃ断しましょう

電源ブレーカーが入っていると、数ワット～数十ワットの電力(※1)を消費するためです。
ただし、機械保護のため、再運転するときは必ず6時間以上前に電源を入れてください。
(※2)

(※1) 停止中の消費電力は、室外ユニットの機種により異なります。
(※2) 設定は、電源ブレーカーをしゃ断する前の状態を記憶しています。
（タイマー設定は消去されます。）

●風向調節、風向自動運転を上手に使いましょう

冷たい空気は下に、暖かい空気は上にたまります。
風向は、冷房･ドライ時は水平に、暖房時は下向きにして、体に直接当てないようにしてください。
風向自動運転はこれらの風向を自動で調節します。

●タイマー運転を有効に使いましょう

室内温度が設定温度になるまで時間がかかります。タイマー運転を活用し、事前に運転を開始してください。

⚠警告

●可燃性のガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。

⚠注意

●エアコンを水洗いしない
漏電によって感電や火災の原因になることがあります。

●お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーをしゃ断する
電源をしゃ断しないと、感電やけがの原因になることがあります。

●高所作業をするときは足場に気をつける
足場が不安定な場合、落下・転倒によりけがの原因になることがあります。

- 清掃時以外は、エアフィルターを外さないでください。故障の原因になることがあります。
- 吸込口に正規のエアフィルター以外のもの(キッチンペーパーなど)を取り付けないでください。
性能が低下し、凍結・水もれの原因になることがあります。

日常のお手入れ

エアフィルターの清掃のしかた①

リモコンに「フィルターのお手入れ時期です」が表示されたら、清掃してください。

- 一定時間運転すると表示されます。

- 表示されるまでの時間を変更することができます。
汚れの多いところでご使用になる場合はお買上げの販売店へご依頼ください。

汚れ	表示されるまでの時間
標準	2500時間(1年相当)
多い場合	1250時間(半年相当)

- 汚れが取れなくなりましたら
エアフィルターを交換してください。
(交換用エアフィルターは別売品です。)

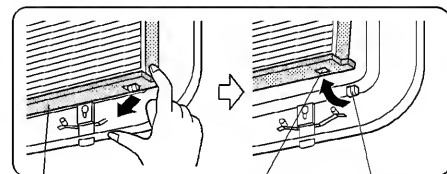
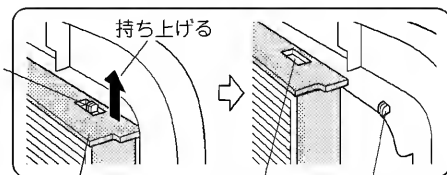
11 ページ参照

1.吸込グリルを開けます。

つまみ2ヵ所を押しながらゆっくりおろしてください。

2.エアフィルターを取り出します。

①②の順番で作業を行ってください。

①エアフィルターの端部を斜め下に引いてグリル突起部からエアフィルターの引掛け穴部を外してください。(左右共)

②エアフィルターを持ち上げてグリル上部の突起部からエアフィルターの引掛け穴部を外してください。(左右共)

3.清掃します。

汚れは電気掃除機または水洗いで清掃してください。

汚れがひどい場合、柔らかいブラシや中性洗剤を使って洗ってください。

水切り後、日陰で乾かしてください。

- **50℃以上のお湯で洗わないでください。**
変色や変形の原因になることがあります。
- **火であぶらないでください。**
燃える原因になることがあります。

4.エアフィルターを取り付けます。

2と逆の手順で取り付けてください。

お手入れについて

エアフィルターの清掃のしかた②

5.吸込グリルを閉めます。

吸込グリルをゆっくり押し上げ、最後に2ヵ所のつまみを押しながら化粧パネル本体に確実に引っ掛けてください。

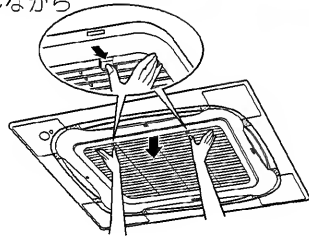
お願い
- **吸込グリルを閉めるとき、ひもをはさみ込むおそれがあります。閉める前にひもが吸込グリルの横からはみ出していないことを確認してください。**

6.リモコンの「フィルターのお手入れ時期です」の表示を消します。

- メインメニューによりフィルターサインリセットを行ってください。
- 運転中と停止中のどちらの状態でも表示を消すことができます。

吸込グリルの清掃のしかた

1.吸込グリルを開けます。

つまみ2ヵ所を押しながらゆっくりおろしてください。

2.吸込グリルのひもを外します。

パネル本体の固定部に引っ掛けているひもを取り外してください。(2ヵ所)

3.吸込グリルを取り外します。

吸込グリルを45°開いた状態にし、持ち上げ、引掛け部から外してください。(3ヵ所)

4.エアフィルターを取り出します。

エアフィルターの清掃のしかた①の**2**を参照してください。

5.清掃します。

水か中性洗剤で柔らかいブラシを使って洗い、水切りしたあと乾いた布で水をふきとってください。

汚れがひどい場合

- 換気扇・レンジなどの洗剤を直接吹き付け、10分くらいそのままにします。その後、水でよく洗い流してください。

お願い
- **50℃以上のお湯で洗わないでください。変色や変形の原因になることがあります。**
- **火であぶらないでください。燃える原因になることがあります。**

6.エアフィルターを取り付けます。

エアフィルターの清掃のしかた①の**2**と逆の手順で取り付けてください。

7.吸込グリルを取り付けます。

3と逆の手順で取り付けてください。

8.吸込グリルのひもを取り付けます。

2と逆の手順で取り付けてください。

9.吸込グリルを閉めます。

エアフィルターの清掃のしかた②の**5**を参照してください。

吸込グリル・吹出口・外装・リモコンの清掃のしかた

- 柔らかい布でからぶきしてください。
- 汚れが取れないときは、水でうすめた中性洗剤にひたしてよく絞った布でふき取ったあと、乾いた布でからぶきしてください。

お願い
- **ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。**
- **50℃以上のお湯を使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。**
- **センサー部の表面に傷をつけないでください。センサーが正しく検知しなくなることがあります。**

シーズン始め・終わりのお手入れ

シーズン始め

確認してください。
- 室内・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？
障害物がある場合は取り除いてください。
障害物は風量低下による能力低下や機器の故障につながります。

エアフィルターと外装を清掃してください。
- エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。(清掃のしかたは 6~8 ページ参照)
- 別売品のエアフィルターの取付方法・取外方法や清掃のしかたは別売品に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 清掃後は、電源を入れてリモコンのメインメニューよりフィルターサインリセットを実行してください。

6時間以上前に電源ブレーカーを入れてください。
- 機械保護のためと、始動を円滑にするためです。
- 電源ブレーカーを入れると、リモコン表示部に文字が表示されます。

電源ブレーカー投入後、6時間以内の暖房運転について
- 機種シリーズによっては、機器保護のため下記運転動作を行う場合があります。
電源ブレーカー投入後、6時間以内に暖房運転をした場合、機器保護のために室外ユニット運転中に室内ファンが約10分間停止します。
上記運転は据付時のみでなく、電源ブレーカーを切/入するごとに行います。
快適にご使用いただくために、暖房シーズン中は電源ブレーカーを切らないことをおすすめします。

シーズン終わり

晴れた日に半日ほど送風運転をし、内部をよく乾燥させてください。
- カビなどの原因になるためです。

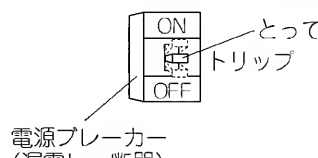
電源ブレーカーをしゃ断してください。
- 電源ブレーカーが入っているときは、数ワット～数十ワットの電力を消費します。
節電のためにも電源をしゃ断してください。
- 電源ブレーカーがしゃ断されると、リモコン表示部の文字が消えます。

エアフィルターと外装を清掃してください。
- エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。(清掃のしかたは 6~8 ページ参照)
- 別売品のエアフィルターの取付方法・取外方法や清掃のしかたは別売品に付属の取扱説明書をご覧ください。

調子がおかしいときは

次の場合は、故障ではありません。

●電源ブレーカー投入後、6時間以内の暖房運転について
機種シリーズによっては、機器保護のため下記運転動作を行う場合があります。
電源ブレーカー投入後、6時間以内に暖房運転をした場合、機器保護のために室外ユニット運転中に室内ファンが約10分間停止します。
上記運転は据付時のみでなく、電源ブレーカーを切/入するごとに行います。
快適にご使用いただくために、暖房シーズン中は電源ブレーカーを切らないことをおすすめします。

症状		原因	確認内容
運転しない	停止後、すぐに運転したとき	機械に無理がかからないようにコントロールしているためです。	リモコンの運転ランプが点灯していれば正常です。3分後に自動で運転を開始します。
	温度調節ボタンを押して、すぐ元の設定に戻したとき		
	リモコンに集中管理中が表示され、操作ボタンを押すと表示が数秒間点滅するとき	集中機器により、コントロールされているためです。	表示の点滅はそのリモコンで操作できないことを示します。
	電源ブレーカーを入れたとき	運転準備のためです。	6時間以上待ってから運転してください。
	室外ユニットが停止	室内温度が設定温度に達しているためです。室内ユニットは送風運転となります。	冷房(自動冷房)：設定温度を下げてください。暖房(自動暖房)：設定温度を上げてください。しばらくして運転開始すれば正常です。
	リモコンに「除霜/ホットスタート」が表示され、風が止まる	室外ユニットに霜が着くと暖房能力が下がるので、自動で除霜運転をしているためです。	約6～8分(最長10分)で、元の運転に戻ります。
ときどき止まる	リモコンに「U4」・「U5」が表示され、停止するが数分で運転を再開する	エアコン以外の機器からの電気雑音(ノイズ)によりユニット間の通信がしゃ断されて停止しているためです。	電気雑音(ノイズ)がなくなると自動で運転を再開します。

次の場合は、故障ではありません。

症状		原因	確認内容
風量が設定どおりにならない	風量調節ボタンを押しても風量が変わらない	冷房運転中の場合、溶けた水が飛ぶのを防ぐため、風量「弱」または微風運転になります。また、除霜運転中(暖房運転時)の場合、直接風が当たらないようエアコンの風は停止します。	しばらくすると、風量を変えることができます。(マイコンドライ運転は風量設定できません。)
		暖房運転中の場合、室内温度が設定温度に達したときは室外ユニットは停止し、室内ユニットは微風運転になります。風量が変わるまでに時間がかかります。	設定温度を上げてください。しばらくすると風量が変わります。
風向が設定どおりにならない	リモコンの表示と風向が異なる 風向スイングできない	自動でコントロールされているためです。	しばらくすると風向を変えることができます。
風向がリモコンの表示と異なる	リモコンにスイングが表示されているが風向羽根がスイングしない	〈暖房時〉運転開始直後や設定温度より室内温度が高いときに直接風が当たらないように風向を水平にコントロールしているためです。	しばらくするとスイングします。(4 ページ参照)
	リモコンの風向表示と風向羽根の動きが異なる	〈暖房時〉運転開始直後や設定温度より室内温度が高いときに直接風が当たらないように風向を水平にコントロールしているためです。	しばらくすると設定の風向になります。(4 ページ参照)
風向羽根が閉じない	運転を停止しても風向羽根が閉じない	エアコンの風が停止してから風向羽根が閉じるためです。	しばらくすると風向羽根が閉じます。
白い霧が出る	冷房時、湿度が高いとき(油分やホコリの多い場所)	室内ユニット内部の汚れがひどい場合に、温度ムラが生じるためです。(※1)	使用環境を確認してください。
	除霜運転中および除霜運転終了後の暖房運転に切り換わったとき	霜が溶け、湯気となって出てくるためです。	リモコンに「除霜/ホットスタート」の表示が出ていれば除霜運転中です。
音が出る	運転開始直後の「ジーン」という音	風向羽根を動かす電動機が作動している音です。	1分くらいで音が小さくなります。
	冷房時や除霜時の「シュー」というかすかな連続音	エアコン内部にガス(冷媒)が流れている音です。	ー
	運転開始･停止直後、除霜開始・停止直後の「シュー」という音	ガス(冷媒)の流れが止まる音または流れが変わる音です。暖房運転時は自動で除霜運転に切り換わりリモコンに「除霜/ホットスタート」が表示されます。	約6〜8分(最長10分)で、元の運転に戻ります。
	運転中や停止後の「シャー」･「ジュルジュル」というかすかな連続音	ドレン排出装置が動作している音です	ー
	運転中と運転停止後の「ピシピシ」というキシミ音	樹脂部品が温度変化により伸縮するためです。	ー
ホコリが出る	長時間の運転停止したあと、ふたたび運転を始めるとき	室内ユニット内部に付着したホコリが吹き出るためです。	ー
ニオイが出る	運転中	部屋のニオイ・たばこのニオイなどが室内ユニット内部で吸着されて吹き出すためです。	ニオイが気になる場合、室内温度が設定温度に達したときの風量を微風または風量なしに設定できます。詳細はお買上げの販売店にご連絡ください。
よく冷えない	マイコンドライ運転中	マイコンドライ運転は、室内温度をできるだけ下げないような運転をするためです。	冷房運転で室内温度を下げてからドライ運転してください。(3 ページ参照)

●冷房運転の特性・暖房運転の特性・マイコンドライ運転の特性(3 ページ)を一読してください。

(※1) 室内ユニットの内部の洗浄が必要です。洗浄には専門の技術が必要ですのでお買上げの販売店にご依頼ください。

サービスを依頼される前にお調べください。

症状	原因	処置
全然運転しない	電源ヒューズが切れていませんか？	電源をしゃ断してください。
	電源ブレーカーがしゃ断されていませんか？	●電源ブレーカーのとってがOFF位置の場合は、電源を入れてください。 ●電源ブレーカーのとってがトリップ位置の場合は、電源を入れないで販売店にご連絡ください。 ON / とって / トリップ / OFF / 電源ブレーカー（漏電しゃ断器）
	停電ではありませんか？	停電復帰後、再運転してください。
運転するとすぐに止まる	室内・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが目づまりしていませんか？	エアフィルターを清掃してください。 エアフィルターの目づまりは風の流れを悪くし、冷房や暖房能力が低下し電気のムダ使いになります。 また、吹出口などに結露する原因になります。 （6,7 ページ参照）
よく冷えない、よく暖まらない	室内・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？ ※停止中は吹出口の風向羽根は閉じます。	障害物を取り除いてください。 障害物がある場合、風量低下や吹き出した風を吸い込み、能力低下や故障の原因になります。 電気のムダ使いにもなり、機器が停止する原因につながります。
	エアフィルターが目づまりしていませんか？	エアフィルターを清掃してください。 エアフィルターの目づまりは風の流れを悪くし、冷房や暖房能力が低下し電気のムダ使いになります。 また、吹出口などに結露する原因になります。 （6,7 ページ参照）
	設定温度は適正ですか？	適正な温度・風量・吹出風向に設定してください。
	設定風量が「弱」になっていませんか？	
	風の吹出方向は適正ですか？	
	窓や扉が開いていませんか？	しっかり閉めてください。
〔冷房時〕	直射日光が入っていませんか？	窓にカーテン・ブラインドをつけてください。
〔冷房時〕	在室人員が多すぎませんか？	—
〔冷房時〕	室内に熱源(OA機器など)が多すぎませんか？	
運転/停止ボタンを押さないのに運転または停止した	入/切タイマー運転をしていませんか？	有効/無効設定画面で 無効 を押してください。
	遠方制御機器を接続されていませんか？	停止を指示した集中管理室などへ連絡・確認をしてください。
	集中管理中の表示が点灯していませんか？	
	停電自動復帰を設定していませんか？	運転/停止ボタンを押して停止してください。

以上のことをお調べになったうえで、なお調子が良くないときはご自分で修理しないで、お買上げの販売店にご依頼ください。
このとき、症状と機種名(保証書または吸込グリル内の機種名銘板(2 ページ参照)に記載)をお知らせください。

知っておいてください

次の場合は販売店へご連絡ください。

⚠警告

●異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源ブレーカーをしゃ断する
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。
お買上げの販売店にご連絡ください。

症状	次の処置をしてから連絡を
電源ヒューズ・電源ブレーカー・漏電しゃ断器などの安全装置がたびたび作動する。	電源を入れないでください。
運転スイッチの作動が不確実。	電源をしゃ断してください。
エアコンから水がもれる。	運転を停止してください。

別売品について

エアコンの機能を幅広くご利用いただけるように、専用部品を用意しております。
ご入用のときにはダイキン純正品とご指定ください。ただし同時組込みできないものがあります。
詳細はお買上げの販売店にお問合わせください。

⚠警告

●別売品の取付けは、自分でしない（交換用別売品は除きます）
別売品は当社指定以外のものは使用しない

取付けに不備があると、水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにご依頼ください。（裏表紙参照）

交換用別売品
- **交換用ロングライフフィルター**……… 汚れが取れなくなったとき、交換してください。

別売品
- **自然蒸発加湿器** ……………………… 室内を適当な湿度に保ち、快適な暖房運転ができます。
- **空気清浄ユニット** …………………… 高効率電気集塵エレメントにより、室内からタバコの煙やホコリを取り除きます。
- **ストリーマ除菌ユニット** …………… ストリーマ放電によりウィルス・菌を強力に除去します。
- **ストリーマ脱臭ユニット** …………… ストリーマ放電により悪臭成分を分解し、いやな臭いを取り除きます。
- **超ロングライフフィルター** ………… メンテナンス期間を標準のフィルターより延長します。
- **高性能フィルター** …………………… 捕集しにくい微細なチリやホコリを捕集し、空気を高度な清浄度に保ちます。

製品の種類と運転音

項目 ＼ FHCP～BA FHCP～BB			40	45	50	56	63	71	80	112	140	160
種類	機能		冷暖房兼用形									
	ユニット構成		分離形									
	凝縮器の冷却方式		空冷式									
	送風方式		直接吹出形									
	定格冷房能力(kW)		3.6	4.0	4.5	5.0	5.6	6.3	7.1	10.0	12.5	14.0
	定格ヒートポンプ暖房標準能力(kW)		4.0	4.5	5.0	5.6	6.3	7.1	8.0	11.2	14.0	16.0
運転音(dB)	室内ユニット	急	32	32	32	32	33	35	36	44	45	45
		強	30	30	30	30	31	32	33	39	41	41
		弱	28	28	28	28	29	29	29	33	35	37

（注）●運転音はJIS B8616（日本工業規格）に準拠し無響室換算したときの値です。
実際に据え付けた状態で測定すると周囲の騒音や反射を受け、表示値より大きくなるのが普通です。
●この値は製品改良のため予告なく変更することがあります。

●本機は業務用エアコンです。
14ページの表1.「点検周期」と「保全周期」の一覧にしたがい適切な保全行為を行ってください。

●家庭用として設計上の標準使用期間を超えて使用する場合は、お買上げの販売店に点検を依頼してください。
設計上の標準使用期間は長期使用製品安全表示銘板に表示しています。
(銘板位置は 2 ページ参照)
設計上の標準使用期間についての詳細は下記をご覧ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

■本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を行っています。

※【設計上の標準使用期間】 10 年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

※設計上の標準使用期間とは

- 運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件下での経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。製造年は室内ユニットの長期使用製品安全表示銘板の中に西暦4桁で表示してあります。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件　日本冷凍空調工業会自主基準による

	項　目	規　定
環境条件	電源電圧	単相200V または三相200V
	周波数	50/60Hz
	冷房室内温度	27 ℃(乾球温度)
	冷房室内湿度	47%(湿球温度 19 ℃)
	冷房室外温度	35 ℃(乾球温度)
	冷房室外湿度	40%(湿球温度24 ℃)
	暖房室内温度	20 ℃(乾球温度)
	暖房室内湿度	59%(湿球温度 15 ℃)
	暖房室外温度	7 ℃(乾球温度)
	暖房室外湿度	87%(湿球温度6 ℃)
	設置条件	製品の据付説明書による標準設置
負荷条件	住宅	木造平屋，南向き和室，居間
	部屋の広さ	機種能力に見合った広さの部屋(畳数)
想定時間	1年当たりの使用日数	東京モデル 冷房：6月2日から9月21日までの112日間 暖房：10月28日から4月14日までの169日間
	1日当たりの使用時間	冷房：9時間／日 暖房：7時間／日
	1年間の使用時間	冷房：1,008時間／年 暖房：1,183時間／年

- 設置状況や環境、使用ひん度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

アフターサービスと保証について

アフターサービスについて

⚠警告

●**分解や改造・修理をしない**
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。

●**移動・再設置は、自分でしない**
据付けに不備があると、
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。

●**冷媒がもれたら火気厳禁**
エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常もれることはありませんが、
万一、冷媒が室内にもれ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると
有毒ガスが発生する原因になります。
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買上げの販売店にご連絡ください。
冷媒もれの修理の場合は、もれ箇所の修理が確実に行われたことを
サービスマンに確認のうえ、運転してください。

フロンについて

1) 地球温暖化防止のため、この製品を廃棄・整備する
場合には、フロン類を回収する必要があります。
2) 本機には以下に示す量のフロン類が使用されています。
P40～P80形の場合　：CO_2　4,700kg相当
P112～P160形の場合 ：CO_2　9,400kg相当
3) 上記2) の数値は、本機が接続されている室外ユニット
や接続室内ユニット台数、配管長などにより異なります。
システム全体での数値は、室外ユニットに表示されています。

この表示はエアコンに温暖化ガス
(フロン類) が封入されていることを、
ご認識いただくための表示です。

■修理を依頼されるときは 次のことをお知らせください。

- 機種名
- 製造番号と据付年月日
  } 保証書に記載してあります。
- 故障状況 ── できるだけ詳しく
（リモコンの表示内容もお知らせください。）
- ご住所・お名前・お電話番号

■無料修理保証期間経過後の修理について

お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。
当社は、このエアコンの補修用性能部品を製造打切り後10年間保有しています。

■保守点検契約のおすすめ

エアコンを数シーズンご使用になると内部が汚れ、性能が低下することがあります。
分解や内部清掃には専門の技術が必要ですので、通常のお手入れとは別に保守点検契約(有料)をおすすめします。

■点検と保全周期の目安について

[保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

表1は次の使用条件が前提となります。
①ひんぱんな運転・停止のない、通常のご使用状態であること。
（機種により異なりますが、通常のご使用における運転・停止の回数は、6回／時間以下を目安としています。）
②製品の運転時間は、10時間／日、2500時間／年としています。

●表1.「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間
電動機 (ファン・ルーバー・ドレンポンプ用など)		20,000時間
空気清浄ユニット		8年
プリント基板類		25,000時間
熱交換器		5年
電子膨張弁		20,000時間

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
バルブ(電磁弁・四方弁など)	1年	20,000時間
センサー (サーミスタ・圧力センサーなど)		5年
ドレンパン(注3)		8年
リモコンおよびスイッチ類		25,000時間
ファン		室外:10年、室内:13年

注1．本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
注2．この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。
適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。
また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。
注3．建築物衛生法（旧ビル管理法）の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。
注4．「保全周期」および「交換周期」は、使用条件（運転時間が長い、運転・停止ひん度が高いなど）や使用環境（高温・多湿など）がきびしくなると短縮する必要があります。
詳細は、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにお問合わせください。

■消耗部品の交換周期目安について

〔交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。〕

●表2.「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5年
高性能フィルター		1年
ヒューズ		10年

主要部品名	点検周期	交換周期
クランクケースヒーター	1年	8年
自然蒸発式加湿器(注3)		3年

注1．本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
注2．この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示しています。
適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。
注3．建築物衛生法（旧ビル管理法）の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。
詳細は、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにお問合わせください。
なお、当社が指定した業者以外による分解や内部清掃に起因する故障については、保証対象外となることがありますのでご注意ください。

■移設および廃棄などについて

転居などでエアコンを移動・再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにご相談ください。

この製品は「フロン回収・破壊法」に定める「第一種特定製品」です。

●この製品を廃棄またはリサイクル（部品や材料の再利用）する場合には「フロン回収・破壊法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊・書面管理が義務付けられています。
●この製品を移動・再設置する場合で、冷媒回収が必要なときは「フロン回収・破壊法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊が義務付けられています。

いずれの場合も、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにご相談ください。

●製品を廃棄する場合は、地域の条例にしたがって適正に処理してください。

■ご不明の場合は

アフターサービスについては、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにお問合わせください。

保証書について

●この製品には保証書がついています。
保証書は、お買上げの販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載事項をお確かめのうえ、エアコンを管理している方が大切に保管してください。

保証期間…据付日から1年

詳細は保証書をよくお読みください。

●保証期間内に無料修理を依頼されるときは、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにご連絡のうえ、修理のときは「保証書」を必ずご提示ください。
ご提示のない場合は、無料修理保証期間中であってもサービス料をいただくことがありますので、保証書は大切に保管してください。

お客様ご相談窓口

商品に関する修理・消耗部品のご用命や取扱いのご相談などすべてのお問合わせは下記の ご購入店 へご連絡ください。

ご購入店名	TEL	据付年月日　　年　　月　　日

緊急時には下記コンタクトセンターへご連絡ください。
電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

ダイキンコンタクトセンター（お客様総合窓口）

フリーダイヤル 0120-88-1081（全国共通フリーダイヤル）
FAXでのお問合わせは　0120-07-0881（FAX専用フリーダイヤル）
http://www.daikincc.com（ご相談対応ホームページ）

営業時間：24時間365日対応いたします。
対応業務：商品に関するすべてのご相談・お問合わせをお受けいたします。
（修理、メンテナンス、取扱い、機種選定および別売品・消耗品・補用部品の販売など）

1101

ダイキン工業株式会社

本　社　大阪市北区中崎西二丁目4番12号　梅田センタービル
郵便番号　530-8323

東京支社　東京都港区港南二丁目18番1号　JR品川イーストビル
郵便番号　108-0075

3P265842-1F　M09A044B (1104) FS